

2010年(平成22年)6月29日(火曜日)

NPO法人設立
増毛山道の会 記念の伐採作業

道路復元、散策会を

【増毛】増毛山道の会(伊達東会長)のNPO法人設立を記念する山道の伐採作業が、二十六日午前八時から町内岩尾地区から増毛山道の分岐点間で行われた。

増毛山道の会は、町内や留萌市、札幌市、石狩市などの有志で組織され、昭和十七年に廃道となつて同二十年代後半に使われなくなった増毛山道の復元に取り組んでいる。NPO法人の登録申請は五月二十六日付で受理されている。

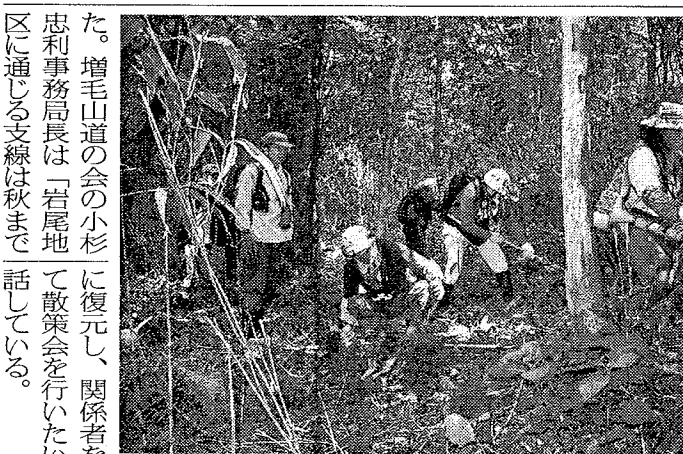
この日の作業は、増毛

山道の支線となる武好駅通から岩尾地区に通じる生活道路を復元するためササ狩りになった。会員の十五人と、町内や留萌市内の会社員五人の合わせて二十人が参加。二班に分かれて入り口に当たる岩尾地区側と増毛山道の岩尾分岐点側の上下双方からササを狩った。

増毛山道と支線の伐採作業は今年初めて。支線のうち、岩尾地区側は昨年秋までに約二キロの復元に取り組んでおり、そのときに付けた目印を探草先発グループやササを草

刈機で刈るグループ、刈り取ったササを整理するグループに分かれて作業が進められた。

先発グループは、昨年の復元道路の一部分が本来のコースから少しずれていたので修正しながら進み、正午までに登り口から約二キロの場所にあるマルヒラ川の支流にかかっていた木製の橋跡に到着。かつての生活道路跡であることを確認した。



増毛山道のうち、岩尾地区に通じる支線のササ狩りに取り組むNPO法人増毛山道の会のメンバーたち

このあとコースを戻りながら目印を付け直し、復元した道路の拡幅、雑草の刈り取りなどを行った。増毛山道の会の小杉忠利事務局長は「岩尾地区に通じる支線は秋まで話している」と話している。